

山形県内の外国人労働者が過去最多の7283人に ベトナム国籍が3割を超える

2026.01.30

山形労働局の集計によると、2025年10月末の県内外国人労働者は7,283人となり、前年より9.3%増加した。届出が義務化された2007年以降で過去最多である。産業別では製造業が3,654人で全体の50.2%を占め、食料品製造が1,179人、繊維工業が947人だった。建設業は773人で10.6%、医療・福祉は546人で7.5%となった。国籍別ではベトナム人が全体の3割を超え、主要な担い手となっている。県内企業の人手不足を背景に、外国人雇用が製造業以外にも広がっている。



DISCOVER YAMAGATA 2025-2026

在住外国人山形魅力体験バスツアー第3弾

2026.01.30

山形県は、県内で働く外国人が地域の自然や文化を体験する「DISCOVER YAMAGATA」の第3回ツアーを企画した。

2026年2月7日に実施し、山形市、東根市、新庄市から参加者を送迎する計画とした。

内容は、舞妓との交流や最上川舟下りなど、県内文化・観光資源を体感する構成である。

外国人同士や地域住民との交流を促し、山形への親しみを深めてもらう狙いがある。

参加者による国内外への情報発信も期待している。

外国人材本人や出身国の家族を山形のファンにし、受入拡大と長期定着につなげる施策として位置付けた。



[PDF] 県内で働く外国人の方々が山形県の魅力を世界へ発信！ Discover Yamagata 2025 Tour No.3 -...

移動 >

山形銀、外国人材定着へ 交流イベント開催

2026.03.09

山形銀行は、県内で働く外国人材を対象に、地域への定着を促す交流イベントを開催した。

食品、製造業など10社から外国人社員が参加した。

参加者の出身国はカンボジア、ミャンマー、モンゴルなど多岐にわたる。

山形の自然や文化を体験しながら、企業や国籍の枠を越えて参加者同士が親交を深めた。

銀行は、仕事だけでなく地域での人間関係や生活の充実も定着に重要と捉えている。

県内企業の外国人材確保を金融機関が交流面から支援する事例である。



2026年度「就職を目指す留学生・外国人社員のための 日本語講座Ⅰ」受講生募集中！

2026.04.21

山形大学が事務局を務めるやまがたグローバル人材育成コンソーシアムは、外国人社員と留学生向け日本語講座の受講者を募集した。

対象は、コンソーシアム参加企業、団体、高等教育機関に所属する外国人である。

講座では日本語能力試験N1～N4の学習を通じ、文法やコミュニケーションの基礎を養う。

職場で必要になる敬語や日本語表現も取り扱う。

希望者には外国人社員向けの個別学習支援も提供する。

日本語能力の向上を就職や職場定着につなげ、県内企業で長期的に活躍できる人材を育てる取組である。



山形県外国人介護人材支援センターについて

2026.04.24

山形県は、外国人介護職員と受入施設の双方を支援する「外国人介護人材支援センター」を運営している。センターは山形県地域包括支援センター等協議会内に設置され、県が業務を委託する。外国人本人や施設からの相談、施設への訪問支援、介護福祉士国家試験対策などを行う。受入れを検討する事業者向けの説明会や、県内施設の受入実態調査も事業に含まれる。窓口相談は原則として火曜日から木曜日の午前9時～午後5時で、メール、FAX、SNSでは随時相談を受け付ける。

。資格取得、職場適応、施設側の受入体制を包括的に支援し、県内定着を促進する。



出典：山形県

https://www.pref.yamagata.jp/090002/kenfuku/koreisha/jigyosha/gaikokujin_center.html

「高度外国人材の獲得に向けたセミナー」を開催します

2026.05.22

山形県は、県内企業による高度外国人材の採用可能性を検討するセミナーを開催すると発表した。

県は2024年度と2025年度、企業関係者とともにインドのNitte大学やウズベキスタンなどを訪問している。

第1部ではインド訪問の成果とNitte大学の教育・人材について共有する。

第2部ではウズベキスタン訪問の成果や、同国人材との連携可能性を取り上げる。

海外大学との関係構築を、県内企業の人材採用へつなげることが目的である。

技能実習や特定技能だけに依存せず、専門性を持つ外国人材の受入経路を広げる取組となっている。



留学生対象「就職活動準備講座（前期）」が スタートします

2026.06.01

やまがたグローバル人材育成コンソーシアムは、県内留学生15人を対象とする2026年度前期の就職活動準備講座を開始した。

日本の就職活動のスケジュールや、留学生として準備すべき事項を学ぶ。

県内企業の経営者、人事担当者、実際に働く外国籍社員による講話と対話も組み込む。

企業が求める人材像や採用後の働き方を、当事者から直接聞く機会を設けた。

書類作成だけでなく、日本特有の採用慣行や職場文化への理解を深める。

留学生の卒業後の県内就職を促し、専門性を持つ外国人材の地域定着につなげる狙いである。

グローバル・スタディーズ・プログラム

ー 世界各国の留学生と英語だけで語り合う4日間 ー
新しい自分を見つけよう！



出典：やまがたグローバル人材育成コンソーシアム・山形大学
<https://pagty.yz.yamagata-u.ac.jp/archives/1601>